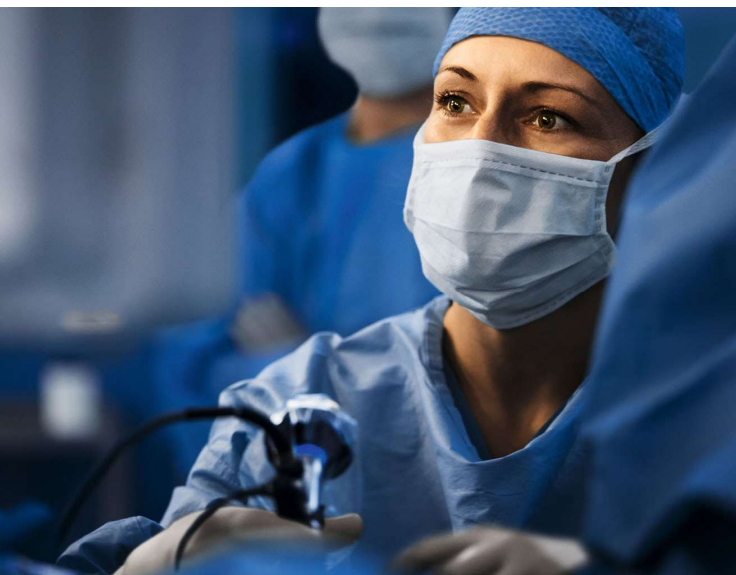


OLYMPUS



オリンパス株式会社

会社案内

A couple stands on a grassy mountain ridge, looking out over a vast, hazy landscape of rolling hills and mountains. The sky is filled with large, white, fluffy clouds, and the sun is low on the horizon, casting a warm, golden light over the scene. The couple is seen from behind, standing close together and looking towards the horizon. The overall mood is one of tranquility and awe.

OLYMPUS

True to Life

「True to Life」は、私たちの存在意義のために尽力し続けるオリンパスの姿勢を表しているグローバルブランドメッセージです。

オリンパスは、人生を豊かに送るための機会が全ての人に与えられるべきと考えています。誰もがその一度きりの機会を最大限に生かせるように、医療技術によるソリューションを日々進歩させることで、全ての人の好奇心や向上心、夢、志を満たし、心の豊かさを実現します。



01 グローバル・メドテックカンパニーとして

02 診療水準の向上に貢献するために

03 持続可能な社会の実現のために

04 健やかな組織文化醸成に向けて

05 会社情報

06 付録

A close-up photograph of a female surgeon in a blue surgical cap and mask, looking intently at a surgical instrument. The background is blurred, showing other medical staff in a sterile operating room environment.

01

グローバル・メドテックカンパニーとして

A photograph of a woman with long brown hair hugging a young child from behind. They are both smiling and looking towards the right. The woman is wearing a grey t-shirt, and the child is wearing a dark blue quilted jacket. The background is a blurred landscape with mountains and a body of water, all under a blue tint.

“

世界の人々の健康と安心、心の豊かさの
実現のために私たちは今後も邁進します。

”

Our Contribution to Patients

1,900,000

大腸がんの罹患者数／年*

Source: GLOBOCAN 2020

50,000,000

大腸内視鏡件数／年*

*グローバル：米国、カナダ、ドイツ、フランス、イタリア、スペイン、英国
日本、中国、韓国、オーストラリア、インド /
データは地域により2018年あるいは2019年時点

Our Contribution to Patients



100

適応可能な疾患数

オリンパスは100*の疾患の治療に役立つ様々な医療機器を提供しています

* 2022年3月現在

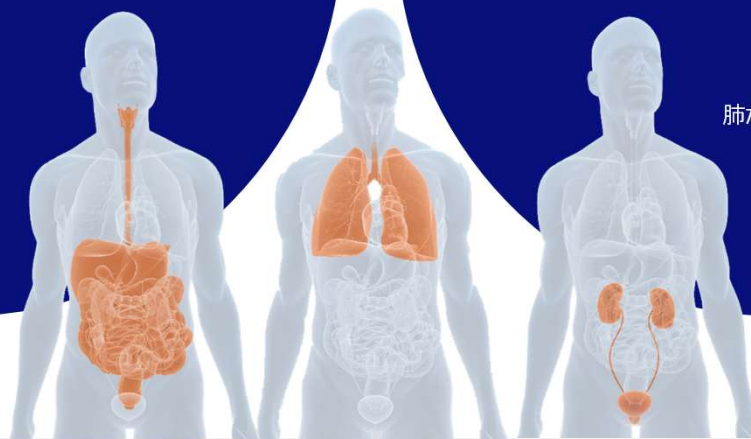


TOP 3

罹患数の多い3つのがん

オリンパスは、罹患数の多い5つ*のがんのうち、肺がん、胃がん、大腸がんへの治療機器を提供するとともに、その他のがんの治療機器の開発も行っています。

*2022年3月現在
乳がんと前立腺がんを除く、罹患数の上位3つ
Source: GLOBOCAN 2020



世界の人々の健康と安心、心の豊かさの実現のために



32,844

全従業員数*1

*1 2023年3月現在

38

拠点のある国や地域*2

*2 2022年12月現在

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling



8,819億円

医療事業売上高 2023年3月期*

*数値は2023年3月時点の年度売上収益



70%

消化器内視鏡シェア*

オリンパスは消化器内視鏡分野での
先進的企業です

*2022年10月現在

Making people's lives healthier, safer and more fulfilling



TOP 100

Global Innovator

オリンパスは、2012年から2020年にかけて、および2022年、2023年に、世界で最も革新的な企業トップ100に選ばれています

<https://clarivate.com/top-100-innovators/>



291

Awards

オリンパスは、1966年以来、革新的なデザインに対して国内外から表彰されています*

*2022年3月現在



17,000

特許の保有件数*

*As of March 2022



CO2 “0”

2030年までに CO2排出量*を実質ゼロに

*自社事業所からのCO2排出量



02

診療水準の向上に貢献するために

当社が最大限の力を発揮できる領域に注力



消化器科

消化器内視鏡
市場占有率

No. 1

内視鏡事業
(ESD¹)
売上高の約55%

消化器処置具
市場占有率

No. 2

治療機器事業
(TSD²)
売上高の約30%



泌尿器科

市場占有率

No. 2

治療機器事業
(TSD²)
売上高の約35%



呼吸器科

市場占有率

No. 1

治療機器事業
(TSD²)
売上高の約15%

¹ ESD: Endoscopic Solutions Division

² TSD: Therapeutic Solutions Division

注：ESD/TSD内のサブセグメントの売上比率は、2023年3月期の数値です。

対象疾患における診療水準の向上に貢献し、患者さんのアウトカムを改善する



100万人

胃がん
年間の新規患者（推定）*

Epi Database®. Cerner Enviza. wee.epidb.comから入手可能。2021年11月18日時点。米国、EU主要5カ国、日本、中国のデータ



2nd

大腸がん
がん関連の死因*

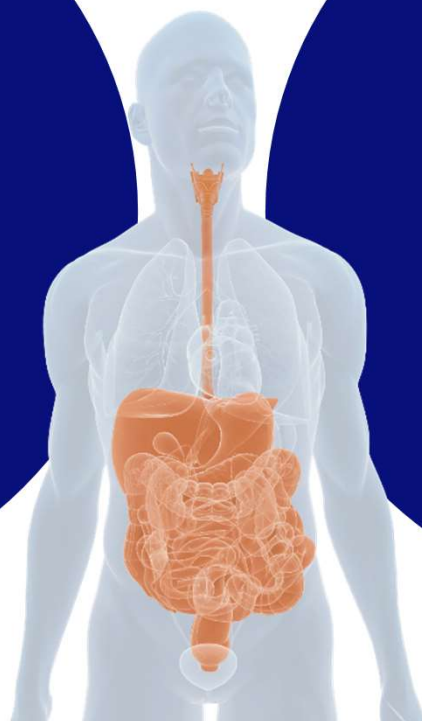
*GLOBOCAN 2020



6,000万人

膵臓・胆道疾患
患者数（推定）*

Epi Database®. Cerner Enviza. wee.epidb.comから入手可能。2021年11月18日時点。米国、EU主要5カ国、日本、中国のデータ



対象疾患における診療水準の向上に貢献し、患者さんのアウトカムを改善する



150万人

膀胱がん
患者数（推定）*

*Epi Database® Cerner Enviza.wee.epidb.comから
入手可能。2021年11月18日時点。データは米国、EU主
要5カ国、日本、中国



50%

BPH（前立腺肥大症）
51歳から60歳までの男性
の罹患率*

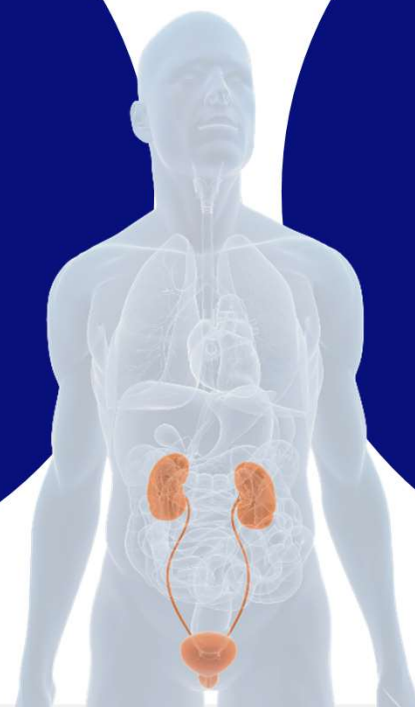
*BPH: surgical management. – Urology Care
Foundation website. www.urologyhealth.org.
Updated July 2013.



13%

結石治療
有病率の上昇率／人口比*

*Epidemiology of stone disease across the world –
World J Urol. 2017 Sep;35(9):1301-1320. doi:
10.1007/s00345-017-2008-6.



対象疾患における診療水準の向上に貢献し、患者さんのアウトカムを改善する



1st

肺がん
がん関連の死因*

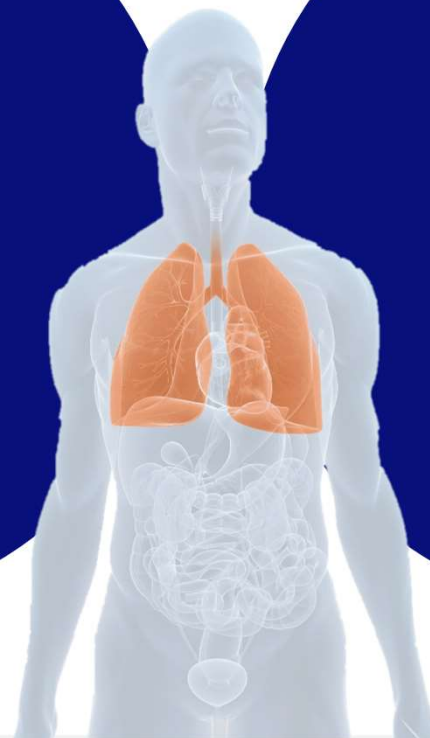
*GLOBOCAN 2020



1.74億人

COPD
患者数（推定）*

*Epi Database®, Cerner Enviza. Available from
wee.epidb.com. 2021年11月18日時点。データは米国、
EU主要5カ国、日本、中国



消化器科におけるソリューション



対象疾患：胃がん／大腸がん／膵臓・胆道疾患

当社の ソリューション



泌尿器科におけるソリューション



対象疾患：結石治療／BPH（前立腺肥大症）／膀胱がん

当社のソリューション



膀胱がん



結石治療

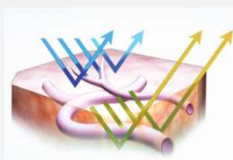


BPH 治療

1:TUR（経尿道的切除術：Transurethral Resection）尿道からレゼクトスコープ（切除鏡）と呼ばれる内視鏡システムを挿入し、手元のハンドルでループ型の電極を操作して、肥大した前立腺や膀胱腫瘍を電気メスで切除する手技。TURis 従来のTURと区別するため、TURis（TUR in saline）と呼ばれている。灌流液には、電解質溶液を用いる

*注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

診断



高水準な内視鏡
イメージング技術



処置

TURis¹

結石破砕



より早くより確実な
結石破砕に貢献する
レーザー装置



経皮的な結石治療を
サポートする結石破砕装置

インプラント



日帰り治療を可能にする前立腺
肥大症低侵襲
治療デバイス*

切除



経尿道的切除術をサポートする
TURis¹システム

切除



肥大した前立腺の
核出術のための革
新的なレーザー技
術

呼吸器科におけるソリューション



対象疾患：肺がん／肺合併症／COPD／気胸など

当社の ソリューション



肺がん



COPD
気胸

1: EBUS: Endobronchial ultrasound: 気管支内超音波断層法
2: EBUS-TBNA: Endobronchial ultrasound-guided transbronchial needle aspirations: 超音波気管支鏡ガイド下針生検

*注：医薬品医療機器等法未承認品など、一部地域における未承認、未発売の技術を含む製品、デバイス情報が含まれております

診断



気管支鏡（リユースおよびシングルユース*）、
内視鏡治療用デバイス

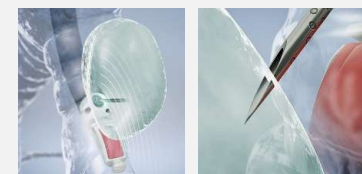
超音波気管支鏡



電磁
ナビゲーション
システム*



定期診断



EBUS¹気管支鏡とEBUS-TBNA²針

治療



気管支バルブ*

診療水準の向上に貢献する4つの領域

外科内視鏡



外科内視鏡システム

エネルギーデバイス



エネルギーデバイス

耳鼻咽喉科



耳鼻咽喉用ビデオスコープ

婦人科



硬性鏡（光学視管）

A photograph of a woman and two young girls with curly hair, all smiling and focused on planting small green seedlings in the ground. The woman is in the center, leaning over the girls. The girl on the left is holding a seedling, and the girl on the right is also holding one. The background is a soft-focus garden with various plants. The entire image has a blue color overlay.

03

持続可能な社会の実現のために

ESGにおける課題*



Environment 環境

- 気候変動への対応
- 脱炭素・循環型社会への貢献
- 温室効果ガスの削減
- 水・廃棄物の削減



Social 社会

- 人権
- 多様性、平等性、インクルージョン
- 労働環境の安全性
- 医療機会の幅広い提供およびアウトカムの向上



Governance ガバナンス

- リスクマネジメント・危機管理
- 経営体制の強化
- 取締役会における多様性
- 情報開示の透明性

*一例のみ / すべてを網羅したものではありません

オリンパスグループのESG



6つのESG領域に注力:



オリンパスの重要課題（マテリアリティ）

- 医療機会の幅広い提供およびアウトカム向上
- コンプライアンスおよび製品の品質安全性への注力
- 責任あるサプライチェーンの推進
- ダイバーシティ・インクルージョンの推進
- 社会と協調した脱炭素・循環型社会実現への貢献

医療機会の幅広い提供および アウトカムの向上

医療水準の向上を目指して

- 医療分野における専門性を強化し、患者さんを中心としたより安全、効果的、革新的な医療機器の開発支援
- 医療従事者が迅速にオリンパス製品に関する専門知識を習得し、患者さんの安全を確保しながら優れた臨床結果を得るための教育プログラムおよびトレーニングの開発・実施

1,285

「オリンパスコンティニューム」
トレーニング開催回数

335

以上

助成金プログラムを通じて、
当社が活動を支援した団体数



コンプライアンスおよび 製品の品質安全性への注力

コンプライアンス

- 2019年に「オリンパスグローバル行動規範」を制定、ビジネス活動が法的要件を満たし、会社のポリシーや規定にそっているかどうかを継続的に評価

製品の品質安全性

- グローバル全地域で統一した是正処置（Field Corrective Action:FCA）プロセス、是正・予防処置（Corrective and Preventive Action:CAPA）プロセスを新規導入し、デジタルソリューションをグローバルに展開

約 **92%**

国内オリンパスグループ
従業員を対象とした
コンプライアンスヘルプライ
ン関連教育の受講率

約 **87%**

プロセス効率化による
全社での文書削減率



責任あるサプライチェーンの推進

調達

- オリンパスの事業活動に協力するすべてのサードパーティーに対する基本的な要請事項を明確化
- サプライヤーさまに対して、人権尊重や反社会勢力排除などの法令・社会規範の遵守等を盛り込んだ「サプライヤーさまへのお願い」配布

人権

- オリンパスグループ従業員に対して、人権や国連指導原則の基礎的な情報に関するオンライン教育を実施

774

社

Webシステムを活用した
企業調査アンケートの
実施*

*国内拠点において取引を行っている
サプライヤーさまが対象

532

社

「サプライヤーさまへの
お願い」配布件数*

*国内拠点において取引を行っている主
要な直接材のサプライヤーさまが対象

約 97%

国内オリンパスグループの
従業員を対象とした
オンライン人権教育の
受講率



ダイバーシティ・インクルージョンの推進

グローバル人事制度の適用拡大

- グローバルレベルでの適所適材配置を可能とする制度の導入を促進

女性の活躍促進

- 女性管理職の登用を促進するため、対象者のスキル向上に加え、管理職としてのマインド醸成

多様な人材の活躍を目指して

- 障がい者の積極的な雇用、定着支援、従業員教育を推進。性的少数者の理解と支援の促進

約 **51%**

オリンパスグループの
グローバルにおける
外国人役職者の割合*

*2022年7月1日時点のグローバル
シニアマネジメントにおける割合

約 **14%**

オリンパスグループの
グローバルにおける
女性役職者の割合*

*2022年7月1日時点のグローバル
シニアマネジメントにおける割合

約 **3倍**

オリンパス（日本）における
女性管理職人数の増加*

*2016年3月時点と2022年4月
時点の人数を比較した数字



社会と協調した脱炭素・ 循環型社会実現への貢献

カーボンニュートラルの達成に向けて

- 2030年までにオリンパスグループの事業所が排出するCO₂排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラル目標を設定
- 2030年までに自社の事業所における全消費電力*を再生可能エネルギー由来に段階的に切り替え、CO₂削減の取り組みを加速

*一部、販売拠点などの賃貸物件は除く

	実績			目標
	FY2020	FY2021	FY2022	FY2031
CO ₂ 排出量	2018年3月比 9.9%削減	2018年3月比 23.3%削減	2018年3月比 25.9%削減	自社事業所 からのCO ₂ 排 出量を実質ゼ ロにする
再生可能 エネルギー 比率	11.4%	12.2%	18.9%	100%





04

健やかな組織文化醸成に向けて

企業文化における進化

健やかな組織文化

私たちの存在意義を実現するため、
従業員一人ひとりがベストな状態でパフォーマンスを発揮できる文化

Purpose-driven

1

影響力を与える リーダーシップ

リーダーが明確な
戦略を示し、オリン
パスの未来を導く

2

コラボレーション

部門や地域を超え
た連携、オープンで
建設的な議論の
実現

3

外部・顧客志向

顧客や市場の
トレンドを押さえ、
新たな発想を大事
に将来のビジネス
ニーズに応える

People-centric

4

権限委譲

誰もが決断し、
責任を持つことが
認められ、自身の
キャリアパスを描い
ていく

5

チャレンジ できる風土

多様な考え方を
大事に、新しい
チャレンジができる
風土を醸成

6

ワーク・ライフ・ バランス

魅力的な職場環
境の整備とともに、
従業員のウェルビー
イングも大切に

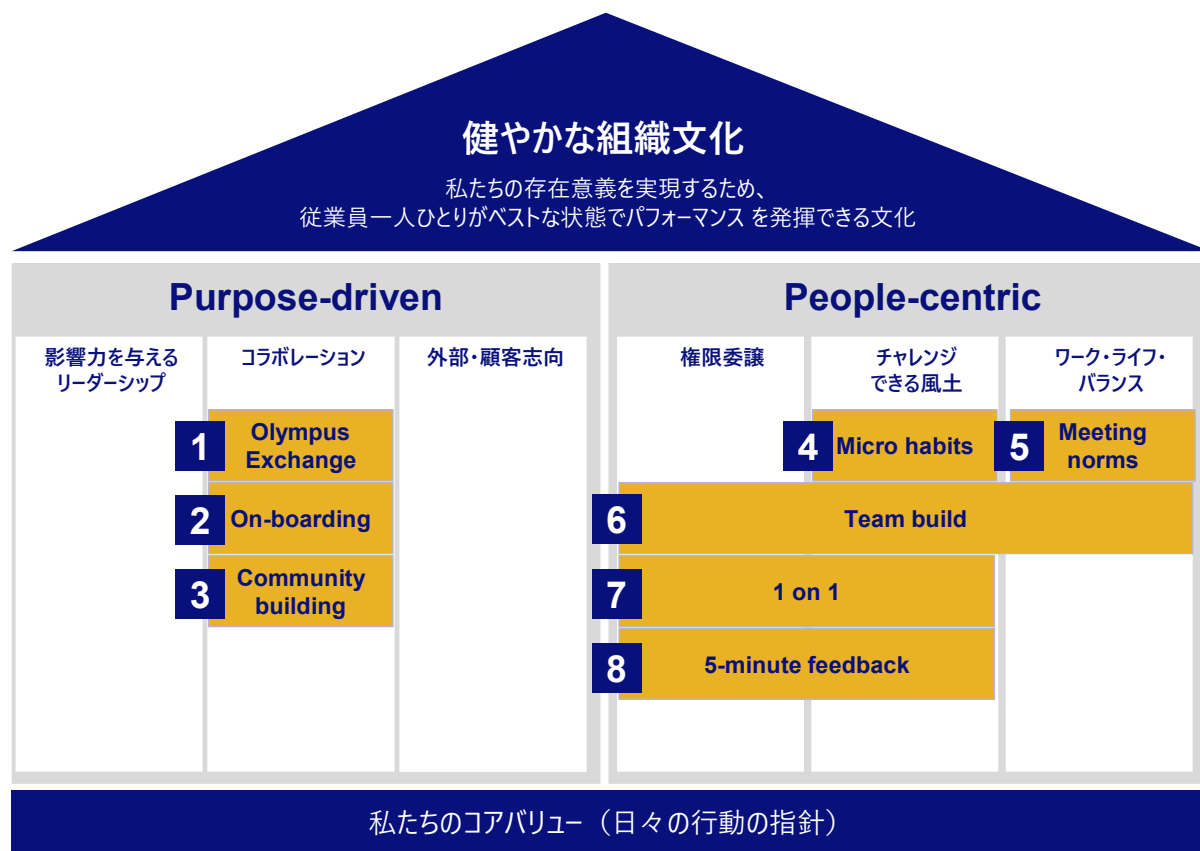
私たちのコアバリュー（日々の行動の指針）

健やかな組織文化の実現のために必要な
6つの要素と私たちのコアバリュー

健やかな組織文化

当社が目指す健やかな組織文化とは、「私たちの存在意義を実現するため、従業員一人ひとりがベストな状態でパフォーマンスを発揮できる文化」と定義しており、この文化の実現のためには6つの要素が必要だと考えています。現在、6つの要素のさらなる向上のため、グローバルで取り組みを進めています。

企業文化における進化



健やかな組織文化の実現のために必要な 6つの要素と私たちのコアバリュー

■優先する要素

CONFIDENTIAL

ツール	詳細
1 Olympus exchange	部門を越えた交流：自社の組織について理解を深める、自社の事業について詳しく知る
2 On-boarding	新たに加わったメンバーの協力を促す、およびグローバルプロジェクトやグローバルな環境で働く経験を与える
3 Community building	部門を越えた協力やネットワーク構築で、コミュニティ開発を促す
4 Micro habits	マイクロハビッツを習得し、ベストプラクティスを共有することで、失敗から学ぶことを知る
5 Meeting norms	会議を効率よく行い、不要な会議を減らす
6 Team build	チームメンバー同士が互いを理解し、チーム内で安心できる環境づくりを目指す
7 1 on 1	上司・部下の定期的な話し合いによって、メンバーの成長を促し、パフォーマンスの向上を図る
8 5-minute feedback	短時間でタイムリー、且つカジュアルな双方向のフィードバックを行う

Core Value Survey

コアバリューサーベイは、健やかな組織文化醸成を支え、従業員エンゲージメントを示す重要なツールです。サーベイは2年に1回実施しています。

コアバリューサーベイに加えて、毎年、簡易的な調査も実施しています。前年のコアバリューサーベイから導き出された対策の結果と進捗状況を把握し、従業員の定着をサポートするために、エンゲージメントが順調に改善されているかを確認します。



86%

回答率

31,000人のうち、
約26,000人がSurveyに
参加



78%

コアバリューの理解度

2018年より9%増加



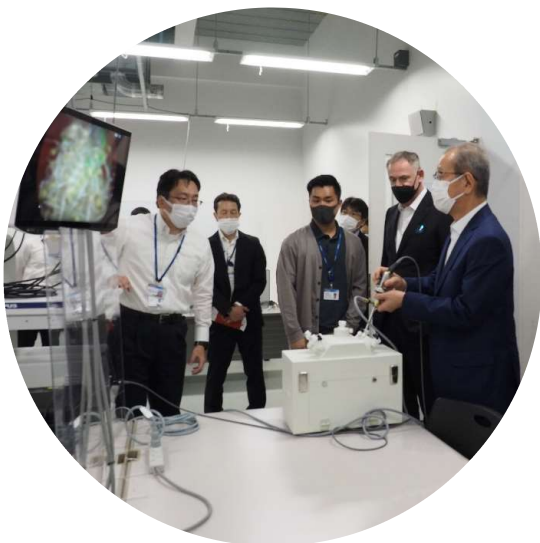
67%

エンゲージメント

2018年より3%改善

As of Nov. 2022

健やかな組織文化を確立するために



Gemba Visit

執行役が製造・開発・営業・オフィスなどの「現場」に出向き、日々現場で働く皆さんの業務や思い、課題意識を理解することでお互いの距離を縮めることを目的としたグローバル施策

6,000

実行力強化研修

組織変革の推進のために、すべての従業員の実行力強化は重要であるという考えの下、リーダーシップコンピテンシーやビジネス実行力の向上を目指した研修も世界中の全従業員を対象に実施

2020年の開始以来、
実行力強化研修に参加した従業員数*

4,300

英語のトレーニング

グローバル・メドテックカンパニーとして円滑な国際コミュニケーションも不可欠であると考えの下、日本では、英語力の向上や異文化理解の支援を行うグローバルコミュニケーション力強化プログラムを実施

2020年の開始以来、グローバルコミュニケーション力強化プログラムに参加した従業員数*

As of Nov. 2022

05

会社情報



会社概要

商号	オリンパス株式会社（Olympus Corporation）
上場市場	東京証券取引所プライム市場（証券コード：7733）
設立	1919年10月12日
取締役 代表執行役社長兼CEO	シュテファン カウフマン
本社	〒163-0914 東京都新宿区西新宿2-3-1 新宿モノリス
資本金	1,246億円（2023年3月現在）
連結売上高	8,819億円（2023年3月期）
連結従業員数	32,844人（2023年3月末現在）

東京本社



Executive Officers



竹内 康雄

取締役 代表執行役 会長 兼
ESGオフィサー (ESG担当役員)



シュテファン・カウフマン

取締役 代表執行役 社長 兼
CEO (最高経営責任者)



フランク・ドレバロウスキー

執行役 エンドスコピックソリューションズ
ディビジョンヘッド
(最高内視鏡事業責任者)



ガブリエラ・ケイナー

執行役 セラピューティックソリューションズ
ディビジョンヘッド
(最高治療機器事業責任者)



武田 睦史

執行役
チーフファイナンスオフィサー
(最高財務責任者)



ナチョ・アビア

執行役 チーフストラテジーオフィサー
(最高経営戦略統括責任者)



小林 哲男

執行役 チーフマニュファクチャリング
アンドサプライオフィサー
(最高製造供給責任者)



アンドレ・ローガン

執行役 チーフテクノロジーオフィサー
(最高技術責任者)



大月 重人

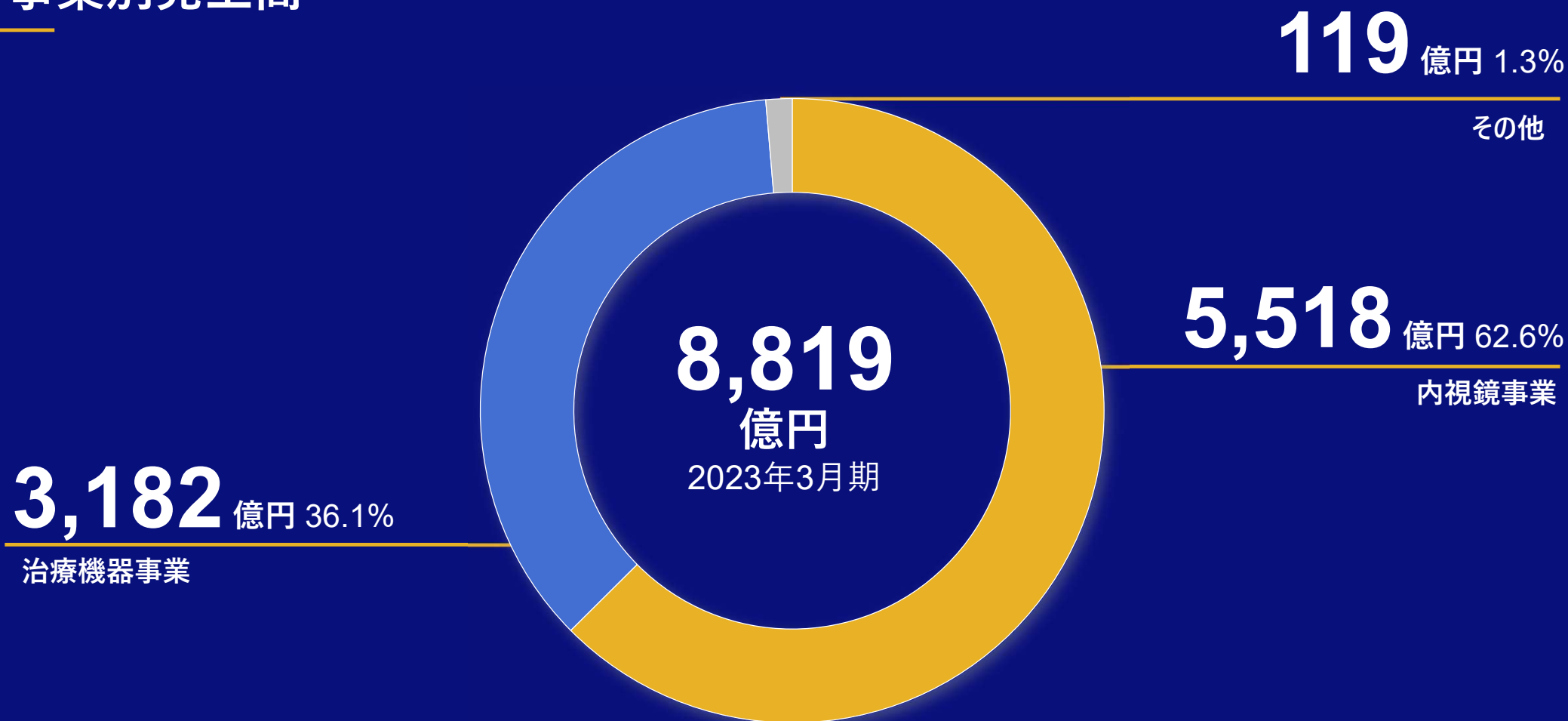
執行役 チーフヒューマンリソースズオフィサー
(最高人事総務責任者)



ピエール・ボワシエ

執行役
チーフクオリティオフィサー
(最高品質法規制責任者)

事業別売上高



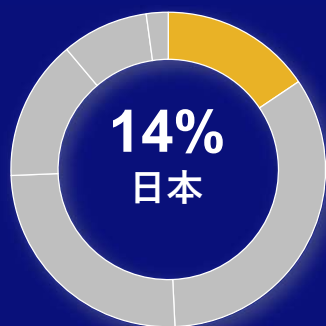
ライフサイエンス分野及び産業分野は、2022年4月1日より株式会社エビデントが事業を推進しています。

地域別売上高

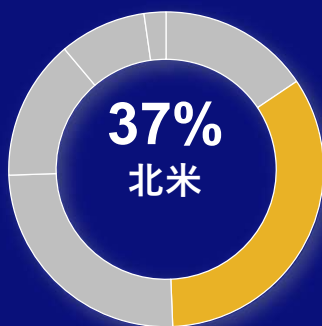


8,819 億円

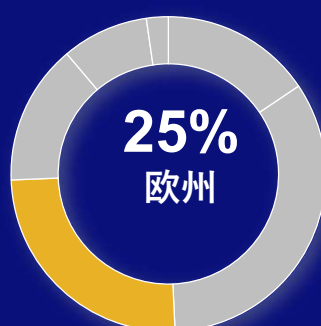
2023年3月期



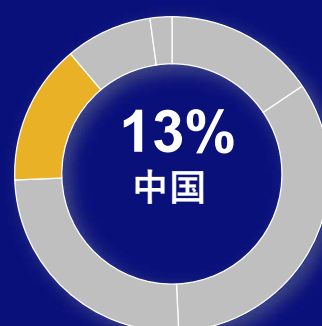
1,225億円



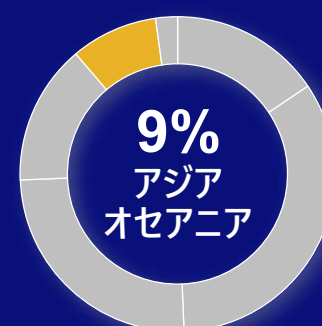
3,222億円



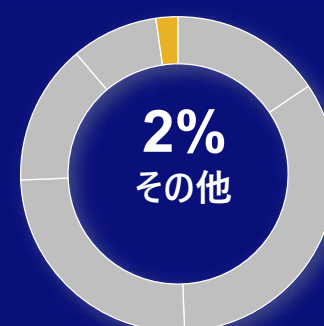
2,222億円



1,171億円

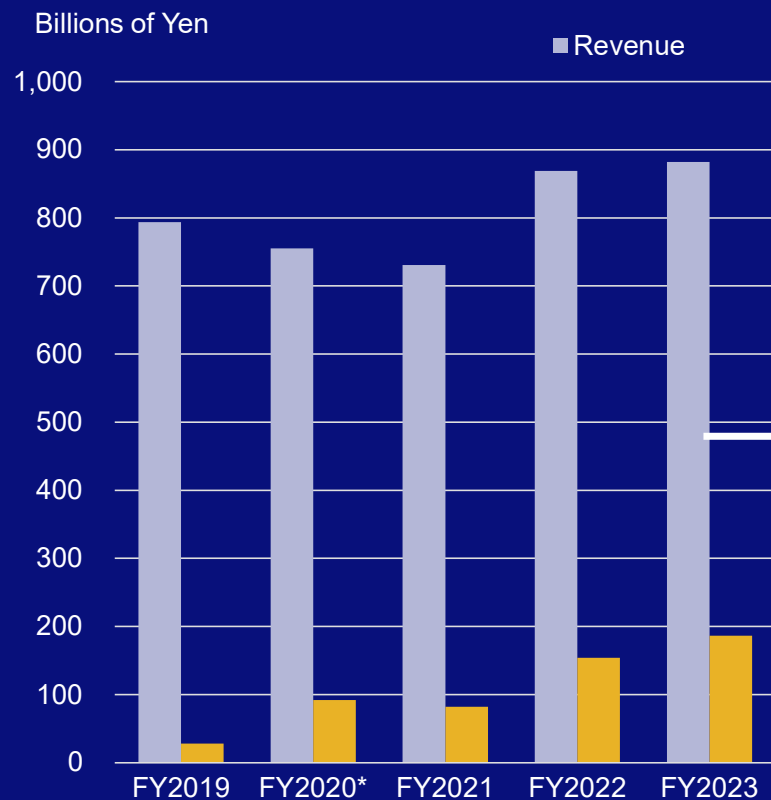


778億円

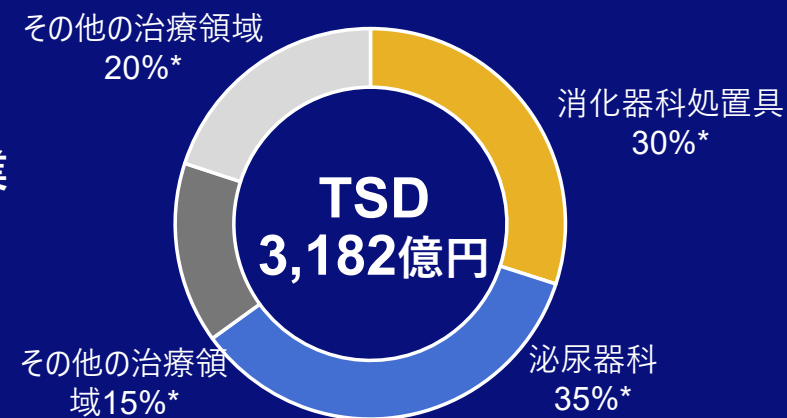
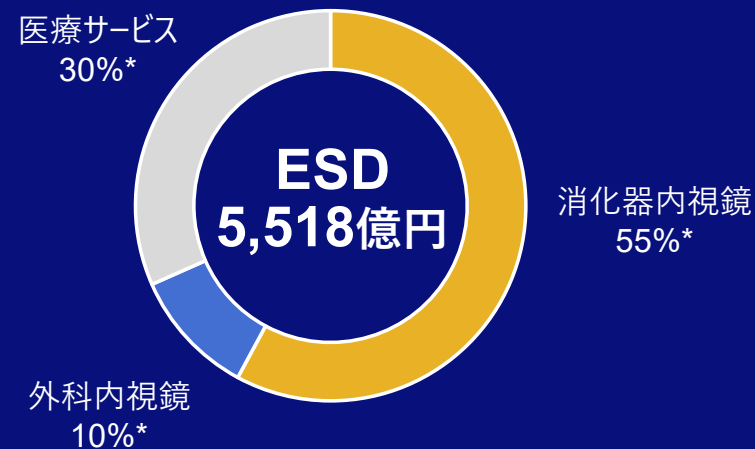
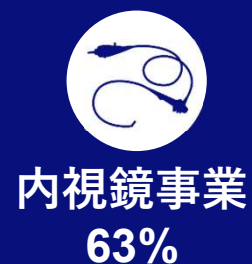


202億円

売上高・営業利益の推移



*2021年1月1日に、日本産業パートナーズ株式会社が設立した特別目的会社に対して、映像事業を譲渡しました。
これに伴い、2021年3月期第2四半期連結会計期間より、映像事業を非継続事業に分類し、過去に開示した2020年通期の数値も組み替えて表示しています。



*Due to rounding, the total may not add up to 100%

06

付録



06 付録

オリンパスの歴史



顕微鏡旭号
を発売

1920



液浸系顕微鏡
昭和号 (GK) を発売

1927



オリンパス光学工業に
社名を改称

1949



ガストロカメラGT-Iを
発売

1952



1919

創業者・山下長
(やました・たけし) に
より顕微鏡の国産化を
目指し、創立。
当時の社名は
高千穂製作所
(10月12日)



1921

商標**オリンパス**を
登録



1936

写真レンズ「ズイコー」を開発し、
当社初のカメラ**セミオリンパス I**を
発売

1950

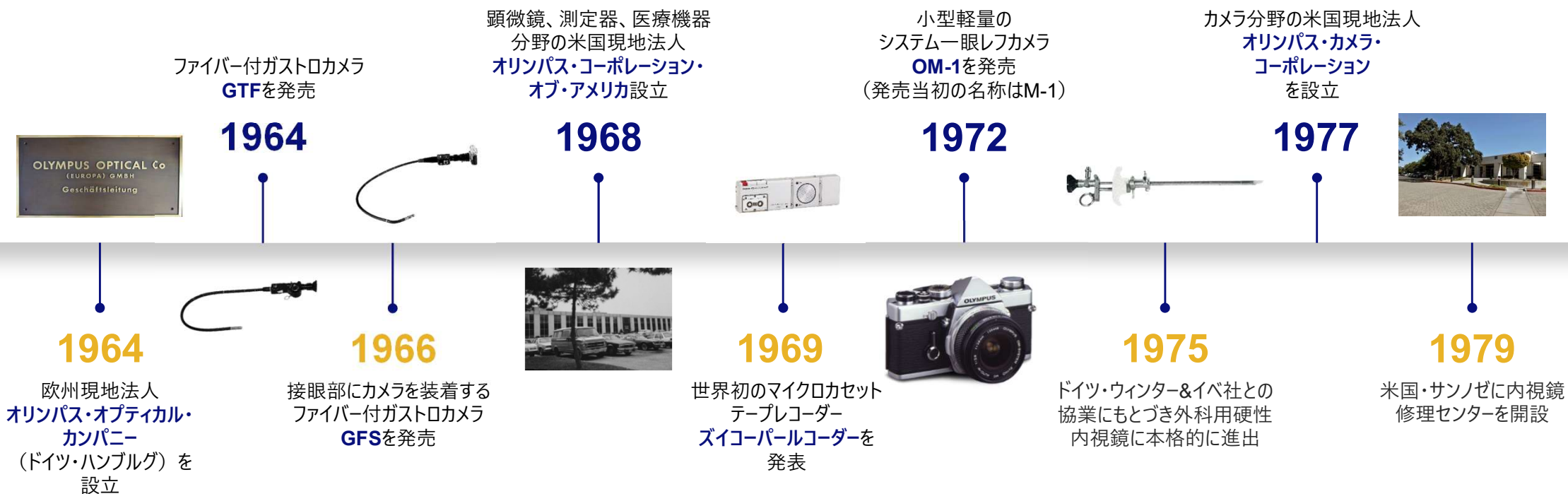
世界初の実用的な
ガストロカメラ
(胃カメラ) を開発



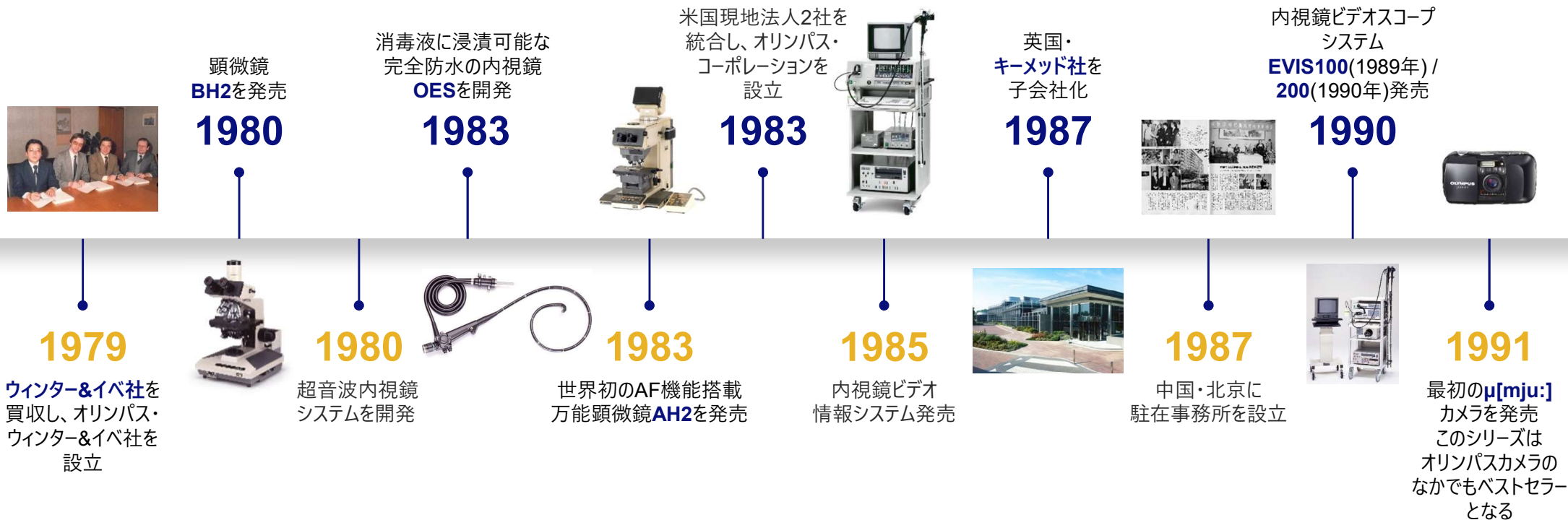
1959

革新的な
ハーフサイズカメラ
オリンパスペンを
発売

オリンパスの歴史



オリンパスの歴史



オリンパスの歴史

無限遠光学系
(UIS光学系)を
採用したシステム
生物顕微鏡BXを
発売

1993



1995

欧州に内視鏡修理子会社
オリンパス・エンドリペア・
ヨーロッパを設立



オリンパス初の
一般消費者向け
デジタルカメラ
CAMEDIA C-800L / C-400L
を発売

1996



半導体検査用顕微鏡
MX50を販売

1996



1996

走査型レーザー
生物顕微鏡
FLUOVUEを
発売



工業用ビデオスコープ
IPLEXを発売

2001

2000

内視鏡
ビデオスコープシステム
EVIS EXERAを発売

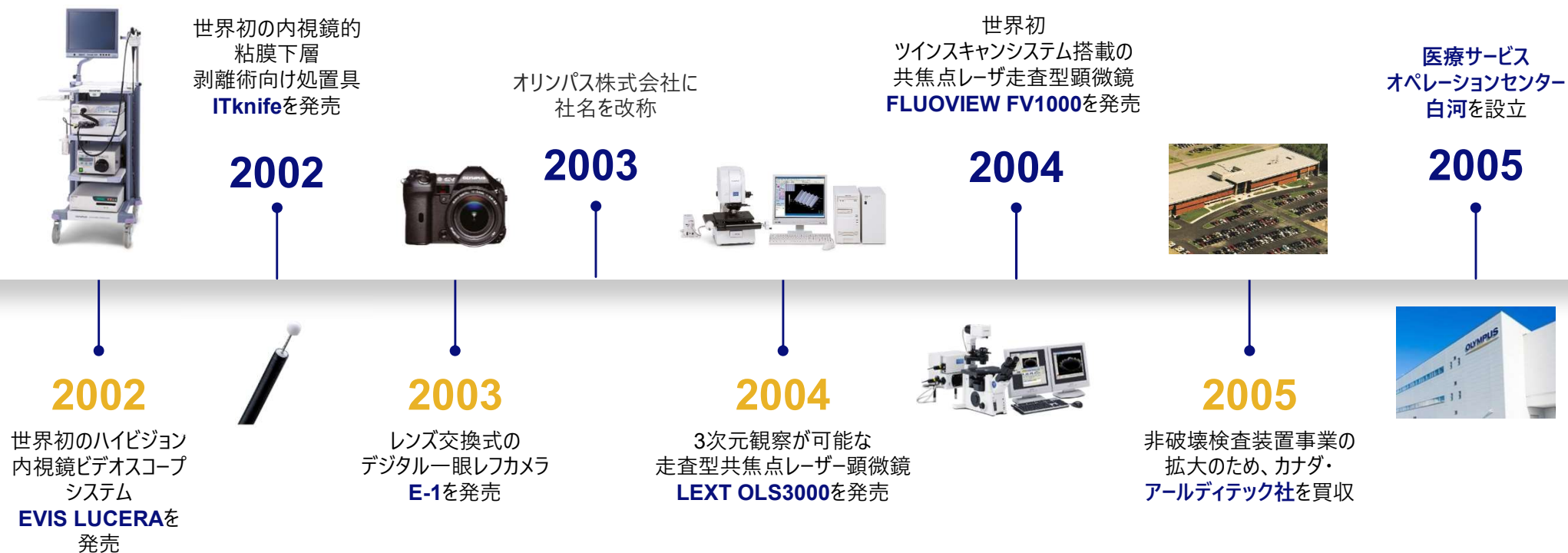


2002

内視鏡手術/検
査用統合
ビデオシステム
VISERAを発売



オリンパスの歴史



オリンパスの歴史

中国に
オリンパス内視鏡修理
技術センター 上海を
設立

2006



外科事業の拡大
に向け、
米国・ジャイラス社
を買収

2008



超音波探傷器
EPOCH1000シリーズを
販売

2009



システム生物用
顕微鏡BX3を
発売

2010



非破壊検査
装置事業の
拡大のため、
イノバックシステムズ社を
買収

2010



2006

狭帯域光観察が可能な
内視鏡ビデオスコープシステム
EVIS EXERA IIおよび
EVIS LUCERA SPECTRUM
を発売



2008

ベトナムに
医療機器と
デジタルカメラの
製造工場
オリンパスベトナムを設立



2009

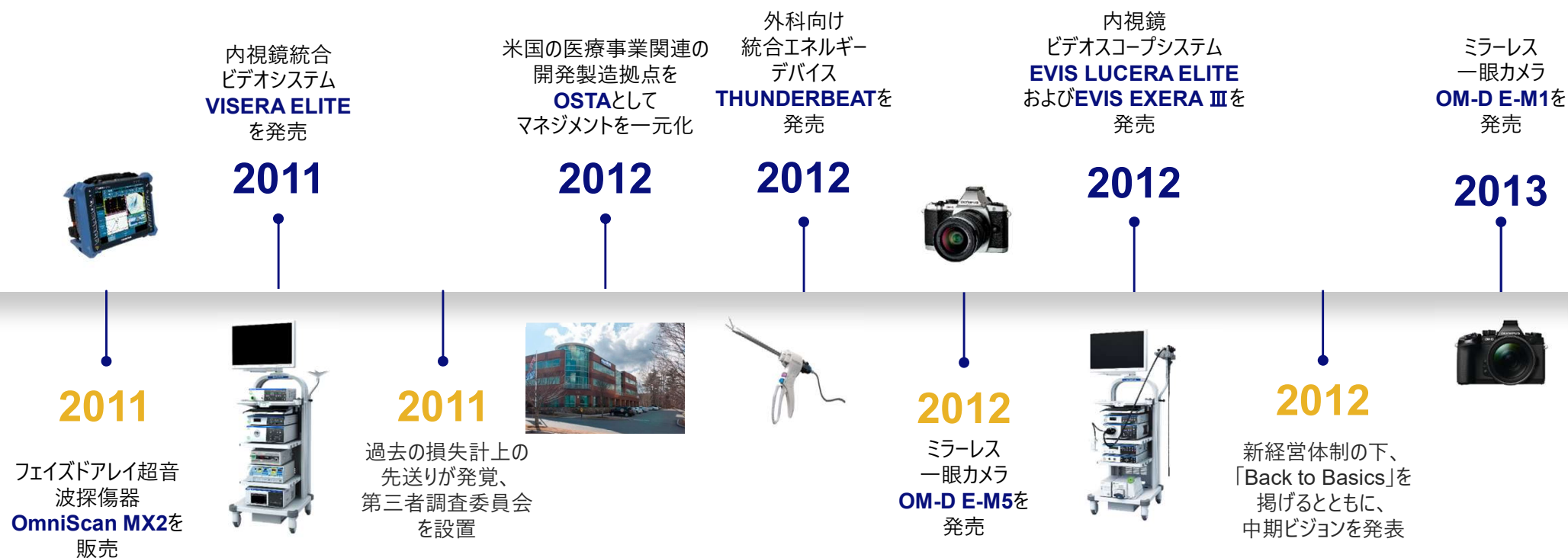
ミラーレス
一眼カメラ
オリンパス・ペン E-P1を
発売



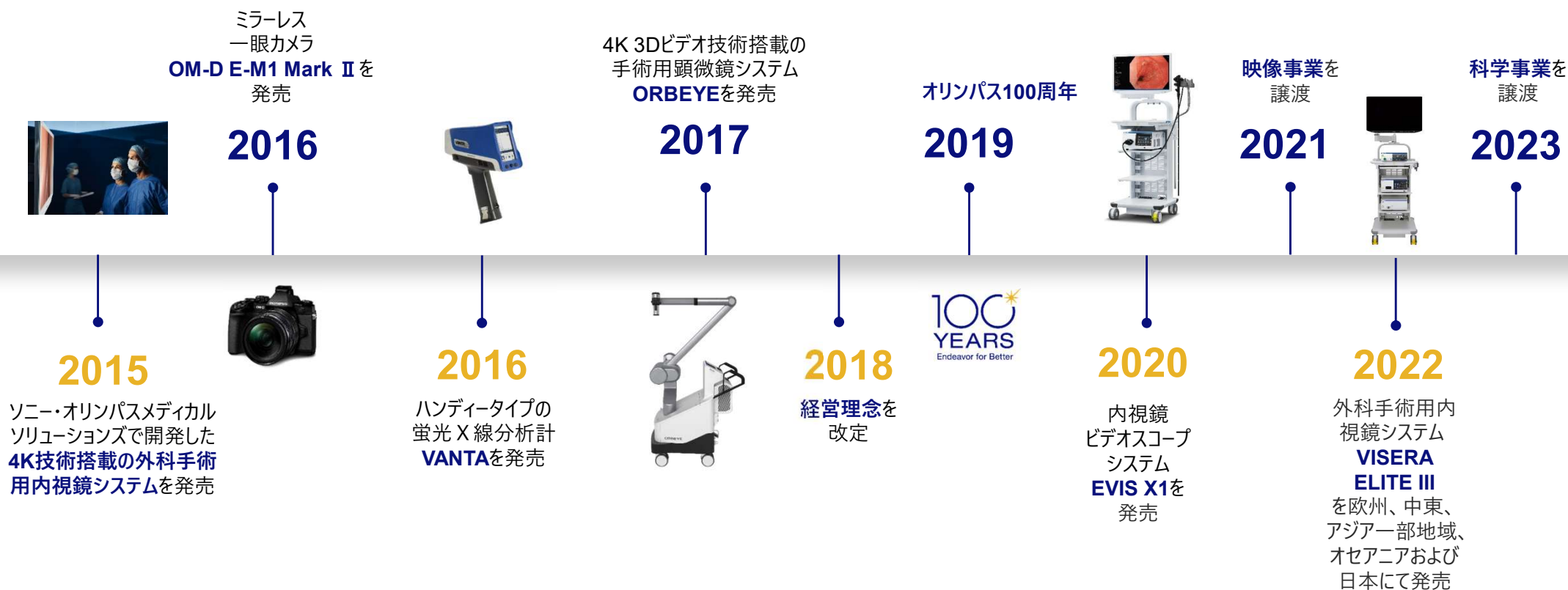
2010

欧州の医療事業関
連の開発製造拠点を
OSTEとして
マネジメントを一元化

オリンパスの歴史



オリンパスの歴史



OLYMPUS

A thick, yellow, horizontal swoosh underline that is slightly curved, positioned directly beneath the word OLYMPUS.

Olympus is a registered trademark of Olympus Corporation, Olympus America Inc., and/or their affiliates.